

## 日本労働年鑑 第54集 1984年版

The Labour Year Book of Japan 1984

## 第二部 労働運動

## XII 政治的大衆行動と平和運動

## 概要

一、第五四回メーデーは、五月一日、代々木公園の中央会場に三五万人、全国一二二二会場で約四〇〇万人が参加した。

一、原水爆禁止八二年世界大会は、八月一～二日国際会議、八月五～六日世界大会・広島、八月八日長崎のひろば、という日程でひらかれ、世界大会には約三万人が参加した。なお、中国は八三年の世界大会参加に前向きな意向を明らかにした。

一、原水爆禁止八二年世界大会を前後して、原水禁、原水協、核禁会議はそれぞれ、被爆三七周年原水禁大会(七月二九～三一日国際連帯会議、八月四～六日広島大会、八月七～九日長崎大会、一〇月一三～一五日沖縄大会)、八二年世界大会決議実践日本原水協集会(八月七日広島、八月八日長崎)、核禁会議全国集会(七月三〇日広島)を開催した。

一、三月一日、焼津市で三・一ビキニデー焼津集会が開催され、七〇〇人が参加。同日ひらかれた故久保山愛吉氏墓前集会にも約一〇〇〇人が出席した。二月二八日～三月一日の両日、三・一ビキニデー日本原水協集会が、約一〇〇〇人で開催された。

一、反核・平和運動は第二回国連軍縮特別総会以後も持続的にとりくまれ、八二年反核・軍縮・平和のための大阪行動(八二年一〇月二四日、大阪)、原子力船「むつ」廃船・東日本集会(九月六日、むつ市大湊)、平和都市をめざす都民大集会(八三年四月二日、代々木公園)などの集会がもたれた。このほか、草の根市民運動を主体とする反核・平和のための多彩な活動がとりくまれた。

一、反戦闘争としては、戦争犠牲者追悼式典(八二年八月一五日、千鳥ヶ淵戦役者墓苑)、侵略を反省し、不戦を誓う集い(九月一八日、日本教育会館)、下町反戦平和の集い(八三年三月六日、蔵前国技館)などがとりくまれた。なお、一〇・二一国際反戦デーの中央集会は、前年にひきつづき分裂集会となった。

一、反軍・反基地闘争としては、富士山麓総行動(八二年一〇月二～三日、御殿場)、小松基地の日米合同軍事演習反対・石川県集会(一〇月三日、小松)、日米共同実動演習反対全国集会(十一月一四日、御殿場)、日米実動陸上演習反対・東富士行動(十一月一五～一八日、東富士)、F16三沢配備反対・青森県集会(十一月二三日、三沢)、核艦船の入港・母港化反対佐世保集会(八三年二月二〇日、佐世保)、エンタープライズ寄港抗議行動(三月二一日、佐世保)などの集会がもたれた。

一、その他の運動としては、金大中氏救出・日韓連帯活動、教科書問題へのとりくみ、拘禁二法反対運動、ロッキード疑獄追及、憲法擁護運動などがあつた。

発行 1983年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 ●

2001年8月28日公開開始

---

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1984年版(第54集)【目次】 次のページ→ ■  
日本労働年鑑【総合案内】

---

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)

---